



複数の文化が生み出す温かさ

小宮 雪鹿

国境を超えた大切な友達ができる。

一年前の夏にした短期留学。3週間共に過ごしたというのにその後も連絡を取り合う友達は出来なかった。自分の英語力のせいだ、と思っていた。その悔しさをバネにこの一年間英語に一生懸命取り組んできた。

研修の内のたった半日、現地の学校と交流をする時間。私が体験した三週間とは比べられない程短い時間だったが、大切な友達が出来た。

自分から知ろう話そうとすることが大事だと強く感じた。一年前の自分を思い出す。私も相手が黙ってしまっていたらどう接したらいいのか分からなくなるはずだ。積極的になることで簡単には見られない相手の内側にある笑顔や優しさを見つけられる気がした。

マレーシアは多民族国家であり、複数の民族と一緒に学校生活を送っている。私の通う日本の学校との違いに興味があった。

行ってみると私達と大きな違いは無く、笑顔が溢れていて民族間の差を意識するような瞬間は一つも無かった。しかしその根本には、お互いの文化を受け入れてそして尊重しあえる温かい空間が存在しているのだと思う。今回の研修で初めて文化と宗教がぶつかり合う瞬間を体験した。違う文化を受け入れ尊重する、と言うことは簡単でよく耳に思うと思うが、実現させることはすごく難しいはずだ。

その形が当たり前のように存在しているマレーシアの人たちが作り出す温かい雰囲気にとっても魅せられた研修でした。